

市民の健康情報の拠点として図書館 に期待すること 子どものヘルスリテラシー向上を 目指した取り組み紹介



本日の流れ

1. 取り組みの背景と始まり
2. 取り組みの2本柱
3. 子どもや保護者の反応
4. 見えてきた課題とこれから
5. 取り組みの「3本目の柱」
6. 図書館へ期待すること

NPO法人からだフシギ

東京医科大学医学部看護学科 看護情報学

瀬戸山陽子

setoyama@tokyo-med.ac.jp

ヘルスリテラシーの必要性

- 現代は、膨大な健康医療情報が溢れる情報社会
- 質の高い健康医療情報を選び意思決定できるヘルスリテラシーが必要
- ヘルスリテラシーとは、健康医療情報にアクセスし、理解・判断し、意思決定できる能力
(Nutbeam, 2000)。
- 「健康増進」「予防」「医療」の全場面に必要
(Sorensen, 2012)。
- ヘルスリテラシーの核は「体の基本的な知識」
(Zarcadoolas, 2006)

日本では、自分の体を知らないまま大人になってしまう

5-6歳児に体のことを伝えよう！

- 5-6歳児を対象とした根拠：

【養護教諭からのヒアリングより】

- 5-6歳児は、自分の体に興味関心がある
- 5-6歳児は、体について、年齢相応に理解できる発達段階である
- 小学校に上がると、カリキュラムが忙しくなるため実現可能性が低い

出典：菱沼典子,山崎好美他 (2009).

活動の2本柱

その1：5-6歳児対象の 「体のお話会」実施

地域の図書館で



保育園で



古民家で



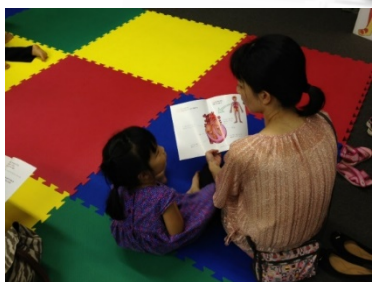
活動の2本柱

その2：5-6歳児が体を学ぶ 教材の開発

「わたしのからだ」8冊絵本+解説本

からだTシャツ

「小腸の長さは、3人分！」
消化器系のTシャツ。



絵本と同じ内容の紙芝居



実際のからだのお話会の様子

この動画は、
聖路加国際大学からだ教育研究会が
5歳児とその保護者に
からだの紙芝居行ったときの様子を
記録したものです。

子どもや保護者の反応

保護者の反応

初めて知った内容あり

(約75%)

子どもの反応

体に興味津々。

2週間後も記憶

ママの心臓の音！

腎臓って、
背中側なんだ！

脳は豆腐くらい
やわらかいから
頭は叩かない！



出典：瀬戸山陽子, 菱沼典子 (2017).

子どもの変化（アウトカム）

からだの
仕組みの理解

臓器の働きが言える

からだへの
興味、
関心の高まり

教わったことを家族に言う

日常生活の
大切さの理解

嫌いなものでも食べる

健康を守る
日常生活行動の
構築

バランスよく食べる

からだの
大切さの理解

自分の体を大事にする

出典：大久保暢子, 松谷美和子他 (2008).

活動組織の移り変わり

- 2003年ごろ：
⇒大学の研究プロジェクトとして、開始
- 2014年：
⇒大学の敷居…
⇒もっといろいろな方とフラットに活動したい
⇒NPO法人「からだフシギ」設立



見えてきた課題とこれから

【これまでのお話し会】

「知らない人」が出かけて来てくれる
「イベント」

【課題】

マンパワー不足、非日常的、
継続性の問題

子どもに身近な人たちが、日常的に、
子どもに体のことを話してもらえたら…

「からだ先生研修会」の開催

- 目的：子どもに体のことを伝えられるようになる
- 対象：子どもと体のことを話したい方
- 開催日：2016年～2018年8月（計4回）
- 参加人数：延べ82人
- 参加者の方々：看護師、保健師、助産師、看護学生、院生、理学療法士、保育士、保育園経営者、**図書館司書**、保護者、出版社勤務、小児科クリニック勤務、学童指導員・・・

図書館へ期待すること

図書館で体のお話しをする良さ

- 子どもにとって、通いなれた身近な場
- 「親子」で参加できる
- 図書館に他の体の本がある



体のお話しはハードルが高い？

- 「子どもからの質問が難しいかも…」

⇒医療職も、体のことは、全部は分からない。
子どもと一緒に考える。

- 「道具の準備が大変…」

⇒絵本1冊、紙芝居1冊だけでも。

Tシャツ等の教材は、あると子どもたちは
興味を示すが、なくても、自分の体があれば。

市民の健康情報拠点としての図書館

- ヘルスリテラシーの中核は、「からだの知識」
- 現状日本では、体を知らないまま大人に
- 5歳児は、体に興味津津。年齢に応じて理解する
- 社会のヘルスリテラシー向上を目指して図書館で「体のお話会」を…

教材のご紹介

13年間の活動を
まとめた新書



8系統+解説本入り
5歳児向けの
体の絵本



次回の「からだ先生研修会」は、
2019年1月12日（土）です

触ると固い所は、骨。
骨は、全部で何個ある？

文献

- 菱沼典子,山崎好美他 (2009). 5~6歳児の体の知識. 聖路加看護学会誌, 13(1), 1-7
- Nutbeam, D. : Health literacy as a public health goal: a challenge for contemporary health education and communication strategies into the 21st century. Health Promotion International, 15(3), 259-267, 2000.
- 大久保暢子, 松谷美和子他 (2008). 幼稚園・保育園年長児向けプログラム“自分の体を知ろう”に対する評価指標の検討. 聖路加看護大学紀要, 34, 36-43.
- 瀬戸山陽子, 菱沼典子 (2017). 地域図書館における子どものヘルスリテラシー向上を目指した取り組み—年長児にからだを教えるプログラムの実践と評価—. 保育と保健, 23 (1) ,94-99.
- Sorensen K, et al. Consortium Health Literacy Project European. Health literacy and public health: a systematic review and integration of definitions and models. BMC Public Health. Jan 25;12:80, 2012.
- Zarcadoolas, C., Pleasant, A. F. & Greer, D. S. : Advancing Health Literacy: A Framework for Understanding and Action. San Francisco, CA: JOSSEY BASS, 2006.